



IX Knowledge Inc.

2026年3月期 決算説明会

2026年5月27日

アイエックス・ナレッジ株式会社

東証スタンダード市場(9753)



目次

1. 当社を取り巻く環境と業績概要
2. 2026年3月期 業績
3. 今後の取組み

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

2. 2026年3月期 業績

3. 今後の取組み

トピックス

2026年3月期

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員82名入社 ・サステナビリティ推進委員会設置 ・情報通信事業会社様1社、情報システム会社様1社からパートナー認定 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム会社様1社から表彰 ・ESG債への投資（日本学生支援債券）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・保険会社様1社から感謝状 ・情報システム会社様1社から表彰 ・ITベンダー様1社からパートナー認定 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム会社様1社からパートナー認定 ・KDDI LADY GO CUPへ協賛 ・年末年始テレビCM放送（BSN新潟放送）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・代表取締役社長に犬飼博文が就任し新経営体制が発足 ・情報システム会社様1社からパートナー認定 ・情報システム会社様1社から表彰 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・業績予想及び配当予想の修正
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・元相談役（株式会社アイエックス創業者）安藤多喜夫「お別れの会」開催 ・ISTQB「Platinum Partner」認定 ・取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ITベンダー様1社から感謝状 ・日本経済新聞一面広告出稿(3月30日付け) ・「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」、健康優良企業「金の認定」継続取得 ・「くるみん認定」取得
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・NTTデータ様の「コアビジネスパートナー」に認定 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット＆プログラム体験教室（5回開催） ・東京ベイお台場クリーンアップ大作戦（3回参加）

トピックス <ピックアップ>

● NTTデータ様の「コアビジネスパートナー」に認定

- ✓ 実績・技術力・情報セキュリティへの取り組みを高く評価いただき認定へ
- ✓ 強固なパートナーシップを通じて、より高品質なサービス提供へ努める
- ✓ 認定期間：2025年10月1日～2026年9月30日

※「コアビジネスパートナー」とは

NTTデータ様が事業のさらなる展開に向けて継続的な協力を期待するパートナー企業を認定する制度で、当社を含め10社が認定されています。

2026年3月期 業績概要（1）

【売上高】 24,351百万円（前年同期比6.7%増）

システム開発案件や、システム運用、基盤・環境構築案件の受注拡大により増収

● 売上への影響要因

■ システム開発売上増加（↑）

- ✓ 金融機関や通信事業者向けシステム開発案件が拡大

■ システム運用、基盤・環境構築売上増加（↑）

- ✓ 社会公共分野の基盤・環境構築案件が増加

2026年3月期 業績概要（2）

【営業利益】2,207百万円（前年同期比18.2%増）

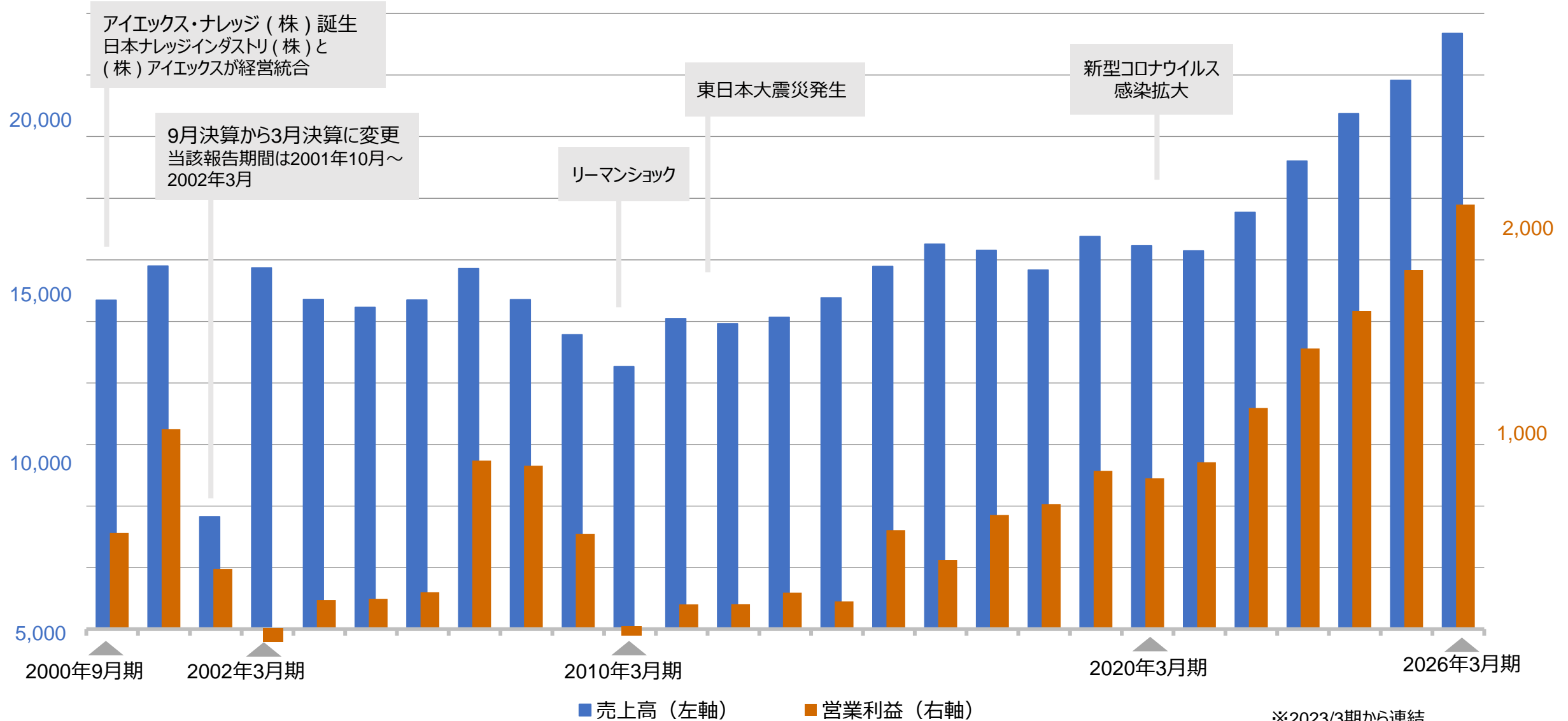
技術者単価向上による売上高の増加に加え、継続的な販管費の抑制により増益

● 営業利益への影響要因

- ✓ 技術者単価向上による売上高増加
- ✓ プロジェクトモニタリング強化による適正な原価管理
- ✓ 戦略的な投資による販管費の抑制
- ✓ 資産除去債務の見直しによる利益減

これまでの業績推移

(単位：百万円)



2. 2026年3月期 業績

1. 当社を取り巻く環境と業績概要
2. 2026年3月期 業績
3. 今後の取組み

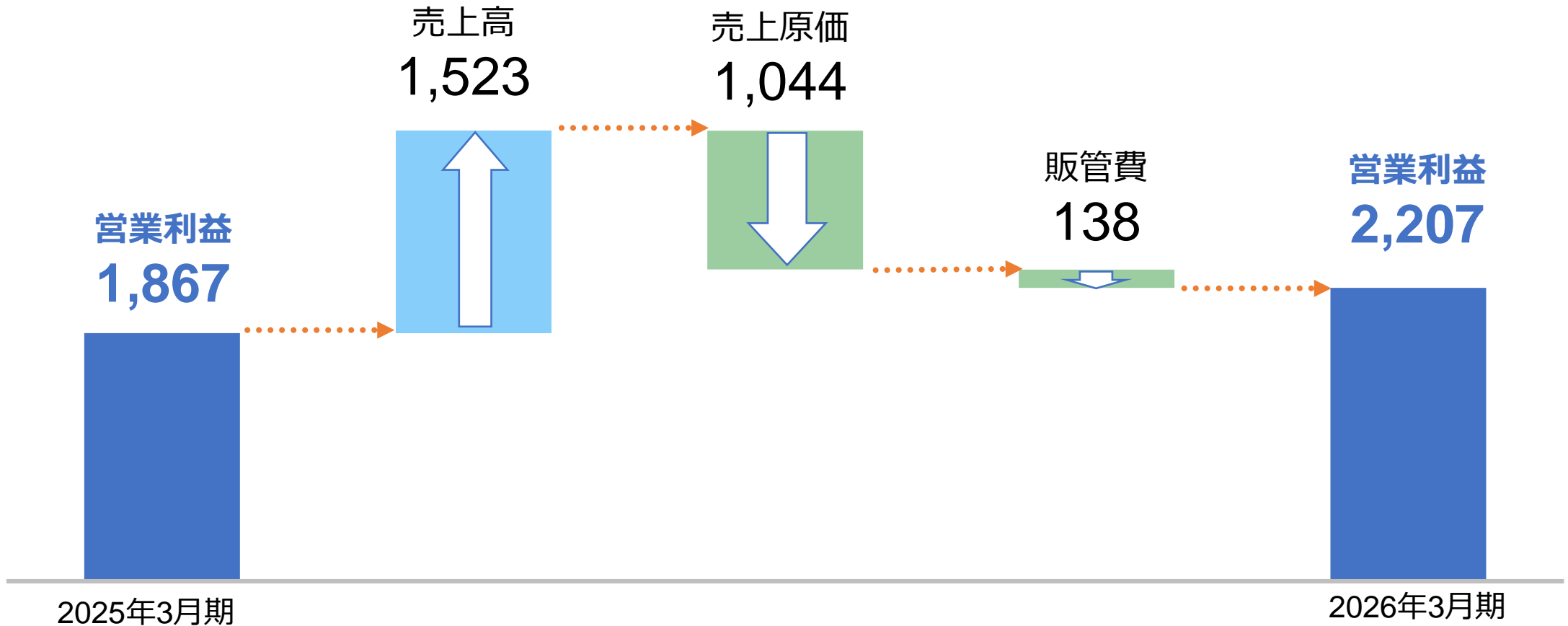
2026年3月期 経営成績

	2026年3月期	2025年3月期	増減額	増減率
売上高	24,351	22,828	1,523	6.7%
売上原価	19,324	18,279	1,044	5.7%
売上総利益	5,027	4,548	478	10.5%
売上総利益率	20.6%	19.9%	—	—
販売費及び一般管理費	2,819	2,681	138	5.2%
営業利益	2,207	1,867	339	18.2%
経常利益	2,318	1,950	367	18.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,714※	1,326	388	29.3%
配当金	50円	40円	10円	—

※：特別利益として固定資産売却益（57百万円）を計上しております。

営業利益の変動要因

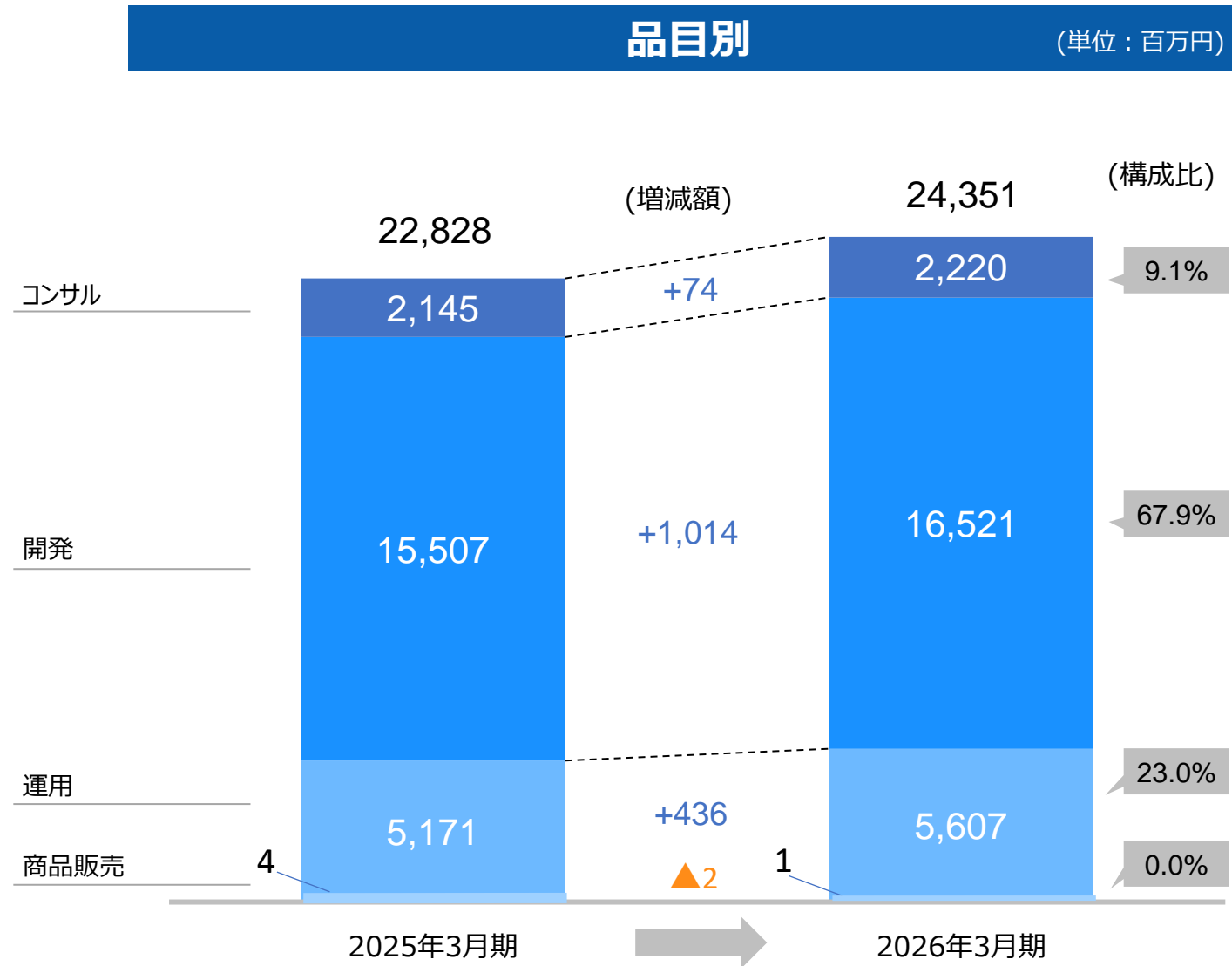
(単位：百万円)



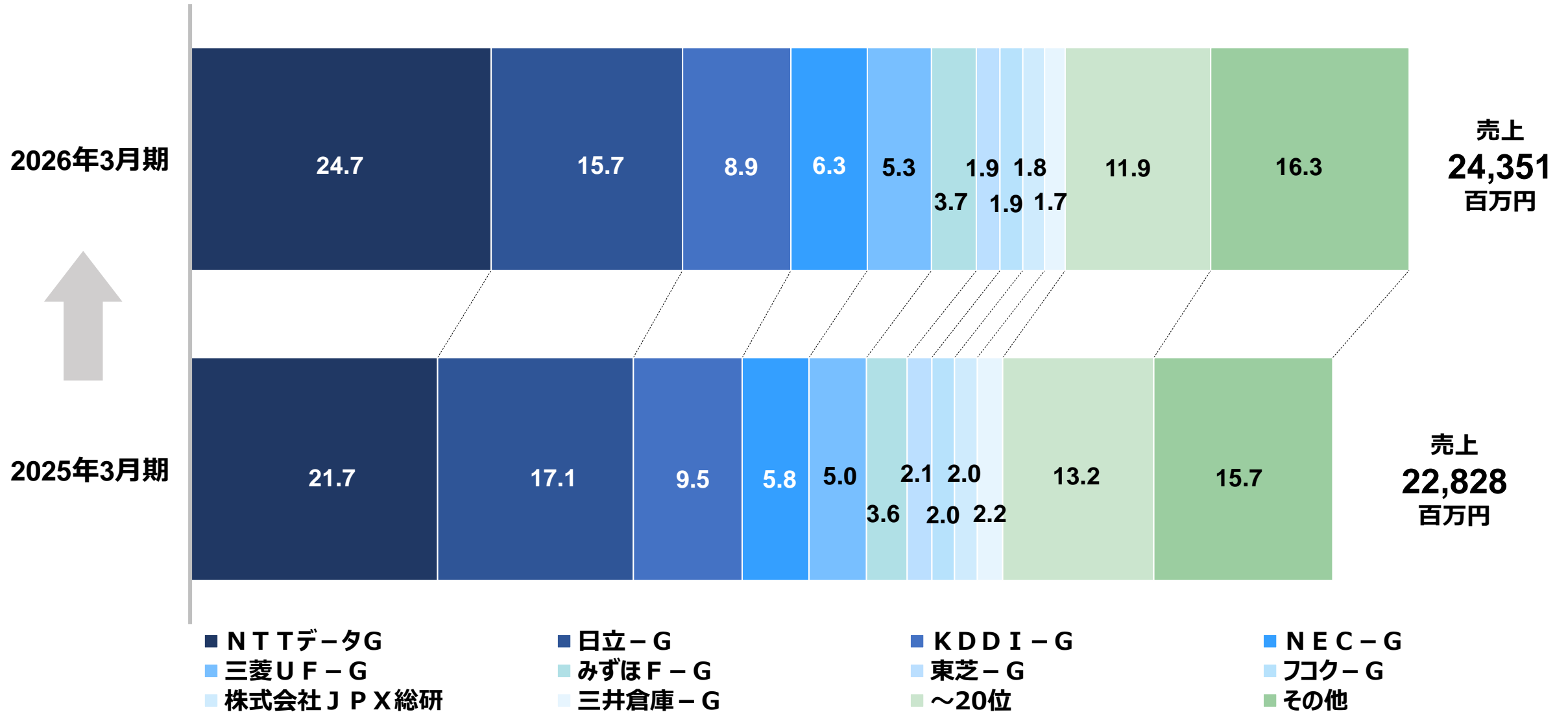
主な変動要因

- 技術者単価向上による売上高増加
- プロジェクトモニタリング強化による適正な原価管理
- 戦略的な投資による販管費の抑制
- 資産除去債務の見直しによる利益減

品目別売上構成



契約先顧客グループ別売上構成

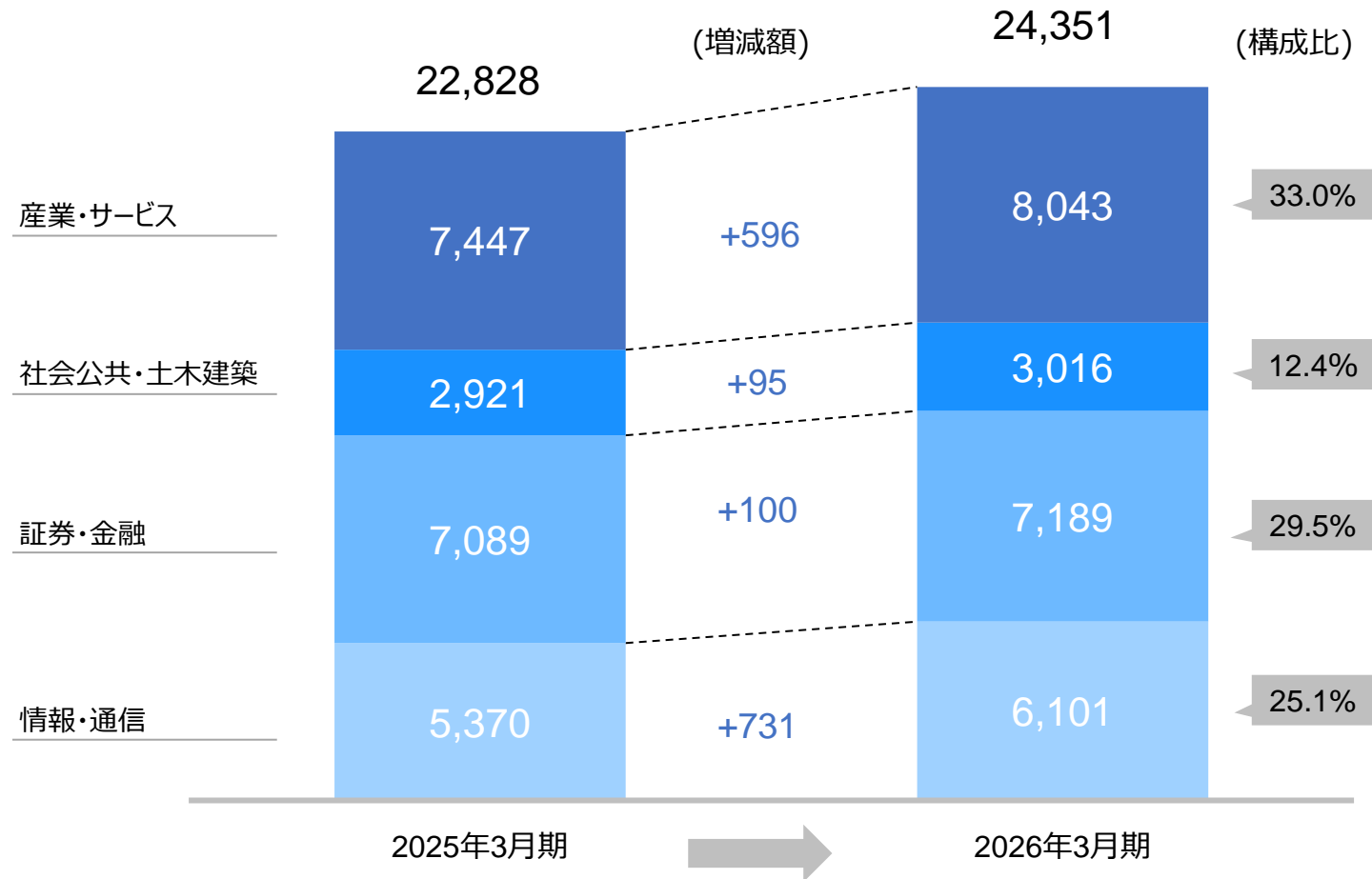


※グラフ中の数値は、売上全体に占める割合(%)を表しています

エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別

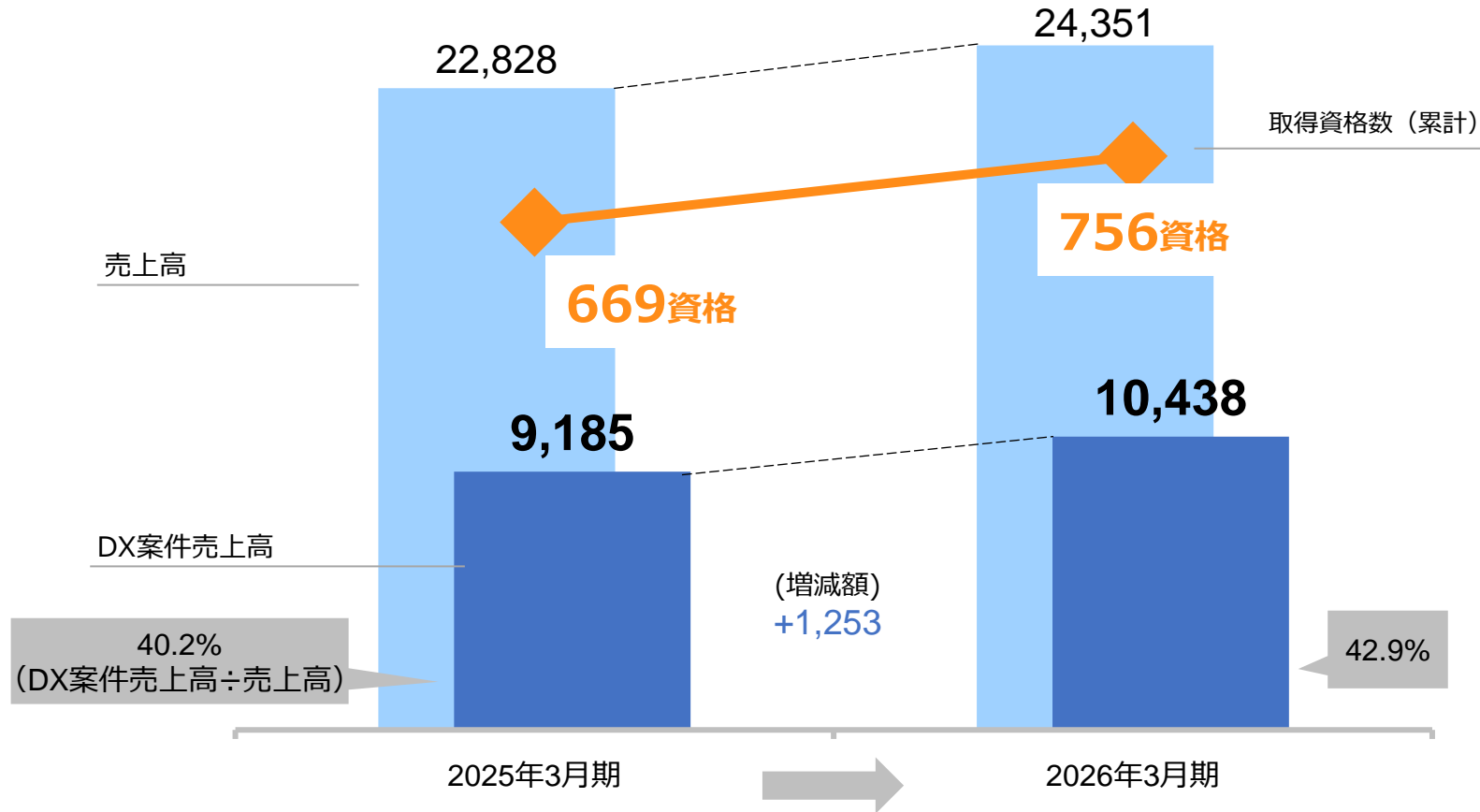
(単位：百万円)



DX案件売上高

売上高におけるDX案件売上高

(単位：百万円)



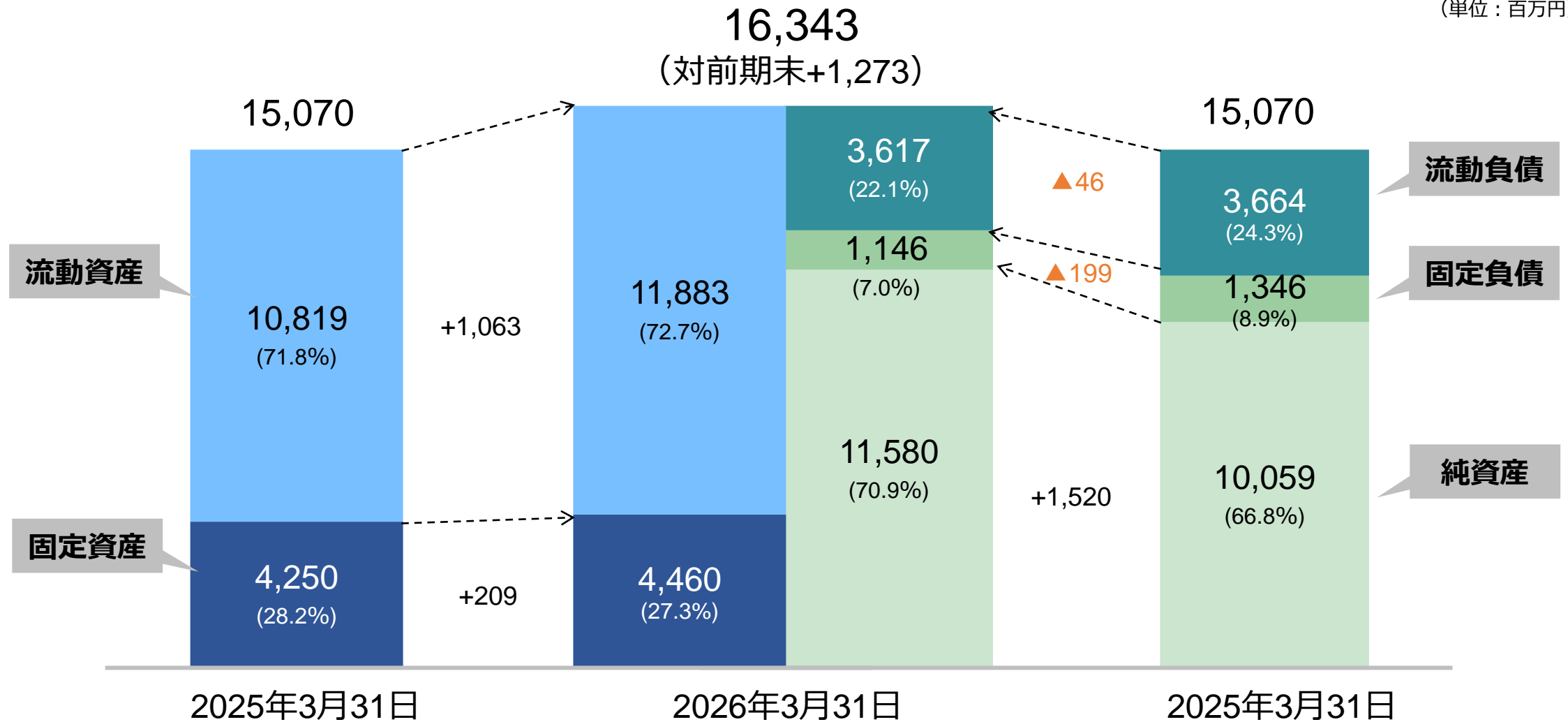
※DX案件は、アジャイル開発等のデジタル化を牽引する要素技術、クラウド構築等のDX化のベーシック開発、AIやデータ分析等のDX化のハンドリング開発の3つの切り口で抽出しております。

貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

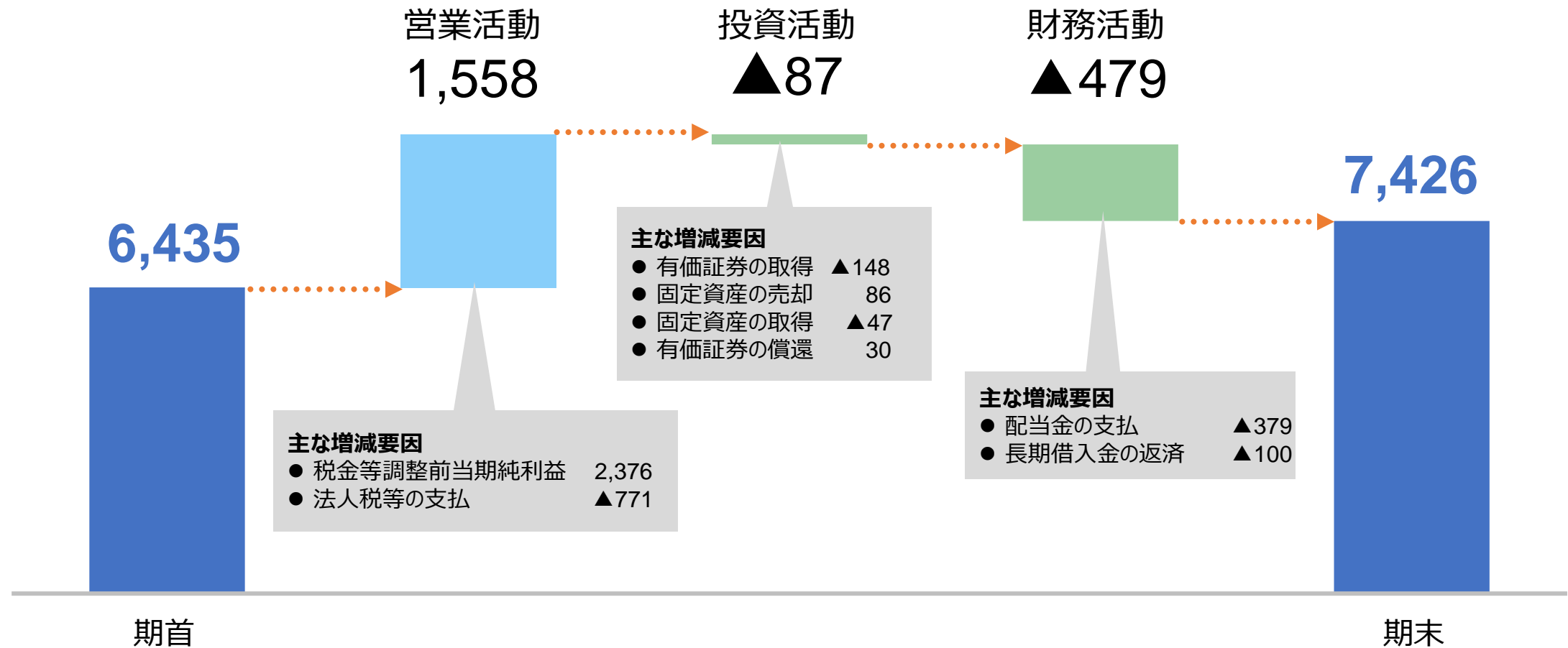
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2025年4月1日～2026年3月31日

(単位：百万円)



3. 今後の取組み

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

2. 2026年3月期 業績

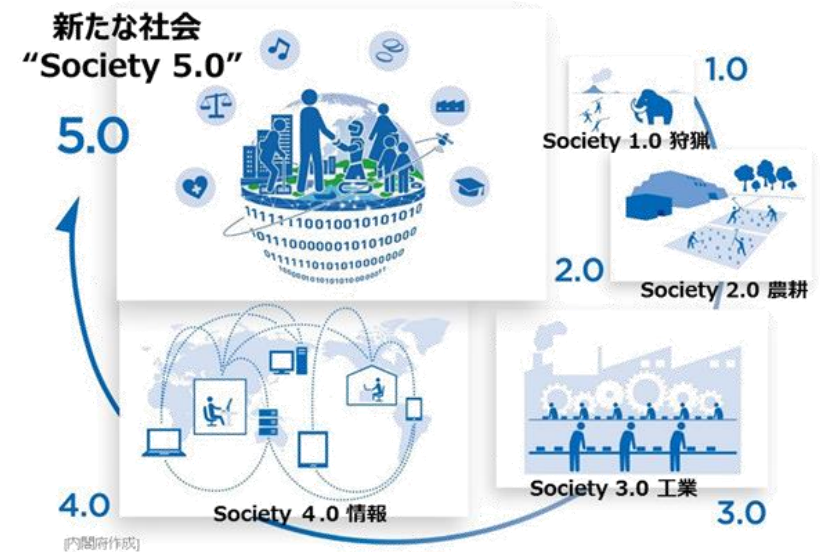
3. 今後の取組み

市場環境

情報化社会（4.0）からSociety5.0の社会へ

- ✓ 予測困難（VUCA）で急激な社会の変化
- ✓ クラウド、AI、IoT等、進化する技術によるDXの進展

出典：内閣府ホームページ
(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)



社会変化への対応



技術進化への対応

企業のDX・クラウドやAI等へのIT投資

当社グループの取り組み ～グループパーパス～

社会とITの未来をともにつなぐ
 “Connecting people one world”

～パーパスに込めた思い～

IKIグループは、共創によりITと社会を繋ぎ、豊かな未来を創造します

～バリュー～

「技術力」 お客様の要求にこたえる技術力を備え、社会に貢献する

「顧客満足」 お客様の期待を超える喜びを提供する

「持続的社会」 社会的課題を自分事として持続可能な社会に貢献する

「健康経営」 誰もがイキイキと成長、活躍できる環境を築く



グループ一丸となった継続的な成長

当社グループの取り組み ～中期経営計画～

【グループパーパス】 社会とITの未来をともにつなぐ
【IKI企業理念】 私たちは情報サービスを通じ人と社会の豊かさに貢献する



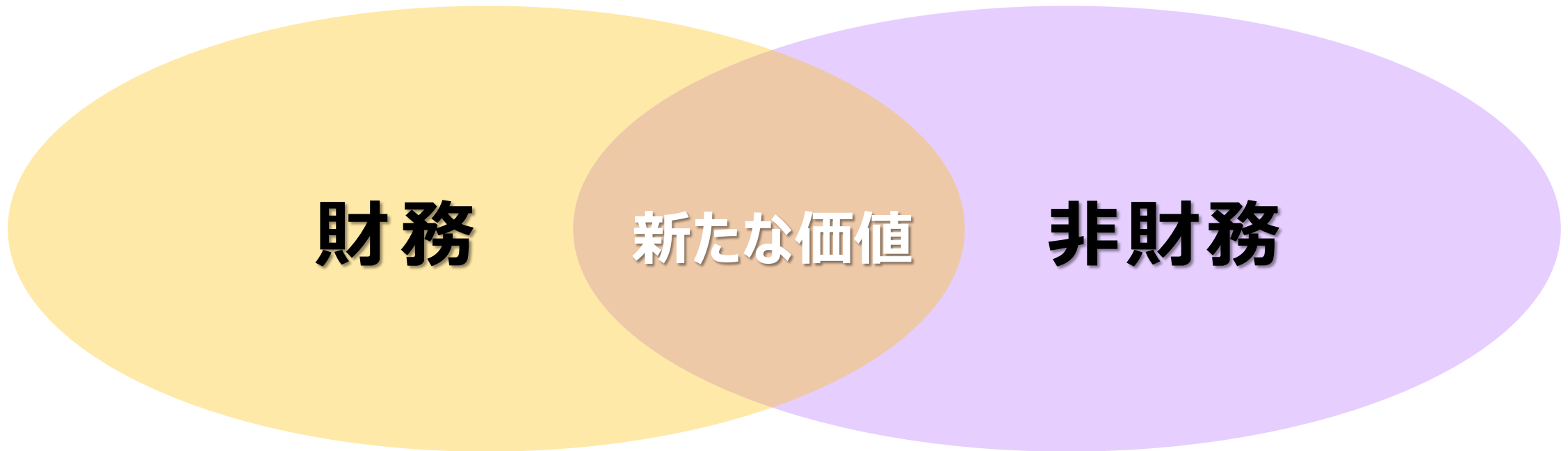
【中期経営方針】 5～10年後を見据えた経営方針
①中核事業の拡大 ②次期成長事業の創出 ③事業基盤の強化



【中期経営計画】 3ケ年のローリング方式

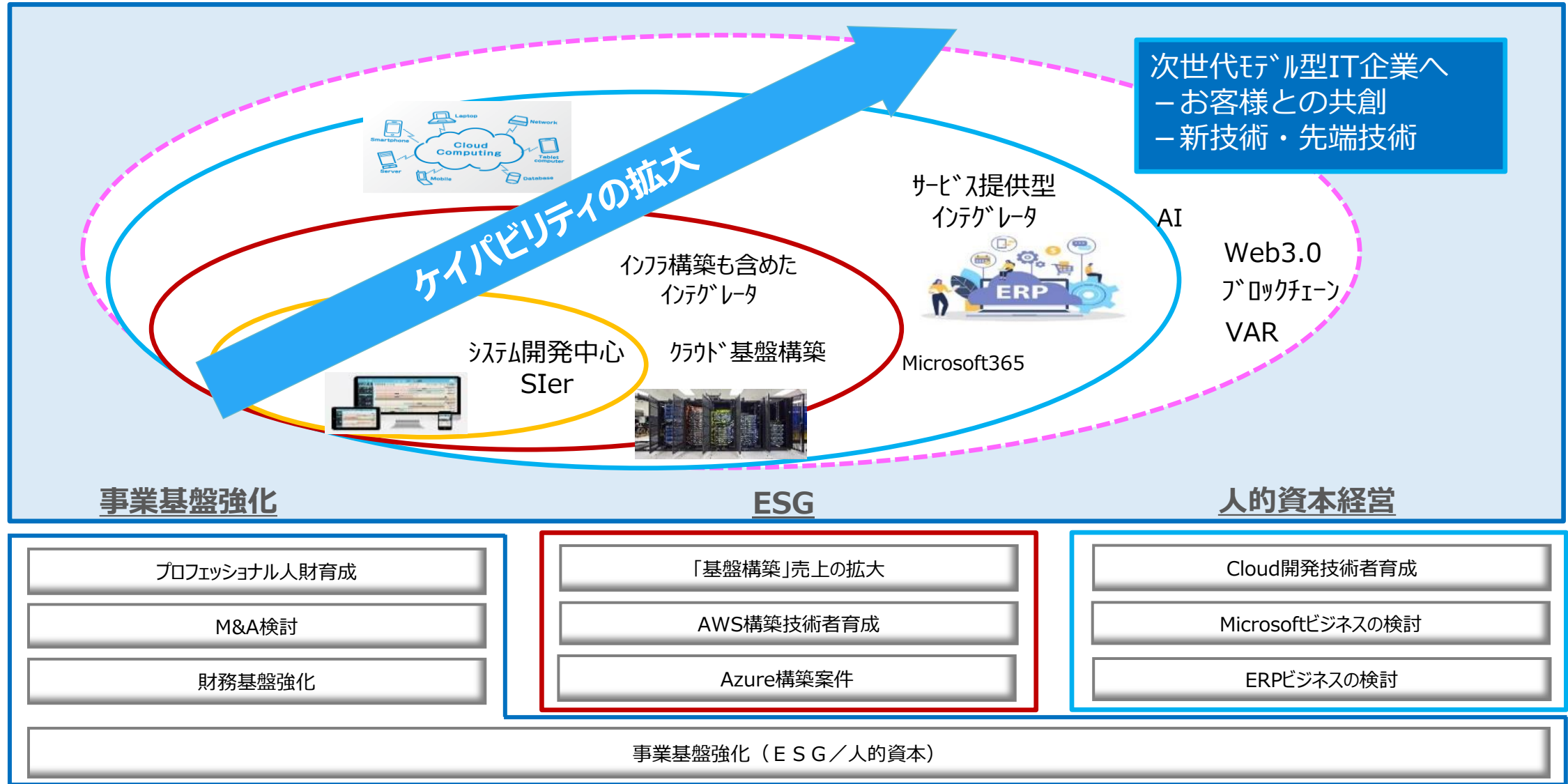
中期経営計画で目指すもの <財務・非財務の戦略一元化>

財務と非財務の戦略一元化



企業価値向上(サステナビリティ経営)

中期経営計画で目指すもの <ケイパビリティの拡大>



次世代モデル型IT企業へ
 - お客様との共創
 - 新技術・先端技術

中期経営計画で目指すもの <IKIグループのケイパビリティ>

IKIグループのケイパビリティ

お客様

共創 & DX

<IKIグループ>

アイエックス・ナレッジ
グループ会社（C&Aコンピューター、スタイル）

IKIグループ関連会社
（HISホールディングス）

パートナー企業

中期経営計画で目指すもの <サステナビリティ経営>

【グループパーパス】社会とITの未来をともにつなぐ

企業理念 + 行動指針

中期経営計画

サステナビリティ経営

ESG 基本方針

グローバル基準での環境対策 (E)

多様性を重視した社会への貢献 (S)

ガバナンスを重視した経営 (G)

人的資本 人財戦略方針

プロフェッショナル人財育成・リスクリング

ダイバーシティ&インクルージョン推進

エンゲージメント&職場環境向上

2027年3月期 取り組みポイント①

「持続的成長」を可能とする礎作り

営業体制

- **営業体制の強化**
 - ・チーム活動、提案型営業による攻めの営業体制へシフトチェンジ
 - ・戦略的営業活動の実施（クロスセル強化、営業KPIの計画化）
 - ・顧客ファーストの意識醸成、営業数値への責任によるマインド強化
 - ・IKIグループとしての営業連携（顧客深耕、横展開）

開発体制

- **厳正な開発管理と新技術対応強化**
 - ・プロジェクトモニタリング ・原価管理徹底
 - ・開発要員の戦略的な適正稼働率維持
 - ・顧客ニーズの現場収集、DX化案件への技術力強化 ・AIをはじめとした新技術の提供

案件対応力

- **パートナー企業と共に案件対応力強化**
 - ・パートナー対応力のアセスメントと重点対応分野の明確化
 - ・新技術、新業務分野での新規パートナー企業開拓
 - ・グループ内での案件情報共有、リソースの連携
 - ・プロフェッショナル人材育成 ・クラウド環境の構築力、クラウド上での開発力強化

2027年3月期 取り組みポイント②

「持続的成長」を可能とする礎作り

DX化 推進

- **DX化ニーズへの対応**
 - ・クラウド構築からクラウド開発への人材育成対応
 - ・クラウドベースサービスへの対応（ERPビジネスの立上げと周辺サービスのビジネス化）
 - ・DX案件拡大と人材育成によるDX関連ビジネス拡大（教育→現場支援→現場教育）
 - ・新技術を活用した次期成長へのビジネスイノベーション、共創によるビジネス検討
 - ・新たなビジネスモデルの策定、営業体制検討

事業基盤 強化

- **中長期を見据えた積極的な投資活動へ**
 - ・グループパーパスの浸透を図り、グループ企業文化醸成
 - ・グループ全体でのコンプライアンス意識再徹底
 - ・教育投資強化によるPM育成、プロフェッショナル人材育成
 - ・新卒、中途採用の強化による技術者確保
 - ・適正なスキルの習得に向けたリスキリング
 - ・デジタル化投資、DX基盤の整備
 - ・事業投資による成長のスピードアップとケイパビリティ拡大（事業提携・M&A）

2027年3月期 取り組みポイント <ピックアップ>

● 株式会社スタイル 子会社化（2026年5月）

- ✓ 社会インフラ分野において高い実績と専門性を有する
 - ✓ 茨城エリアにおける開発拠点やビジネスパートナー網との高い親和性の活用
- ⇒ より付加価値の高いサービスの提供を目指す

● 会社概要

設立 2009年10月20日

資本金 1,000万円

代表者 代表取締役社長 中谷 彰宏

所在地 福島県いわき市

事業内容 SES と受託開発を通じて鉄道・交通・電力・上下水道などのシステム構築を担うエンジニアリングサービスを提供



2027年3月期 業績予想

(単位：百万円)

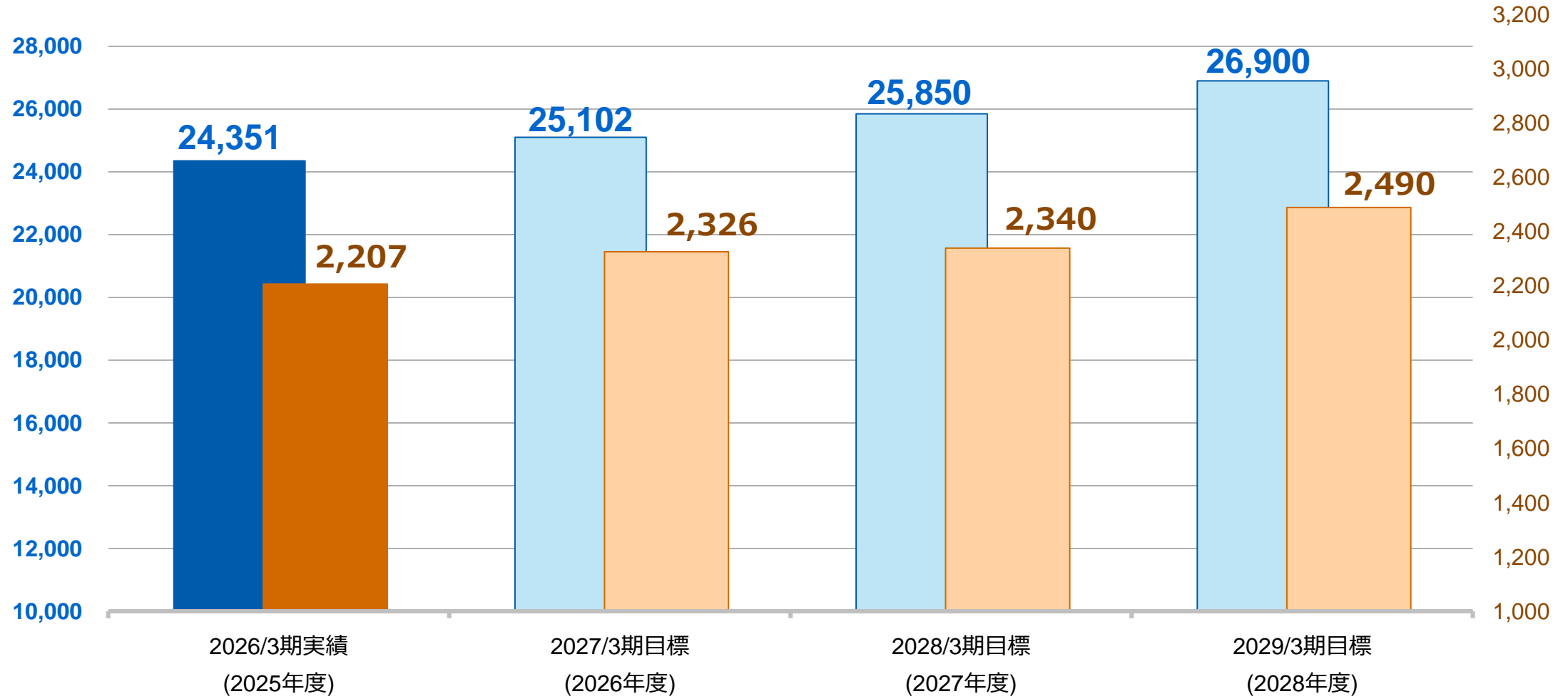
	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績	増減率
売上高	25,102	24,351	3.1%
売上原価	19,655	19,324	1.7%
売上総利益	5,446	5,027	8.3%
売上総利益率	21.7%	20.6%	—
販売費及び一般管理費	3,120	2,819	10.7%
営業利益	2,326	2,207	5.4%
経常利益	2,397	2,318	3.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,614	1,714	▲5.8%
配当金	50円	50円	—

※2026年3月期に適用を受けた賃上げ促進税制は、2027年3月期の業績予想には含まれておりません。

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

中期業績目標

(単位：百万円)



■ 売上高 (左軸)

■ 営業利益 (右軸)

※業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。



IX Knowledge Group

「社会とITの未来をともにつなぐ」

“Connecting people one world”

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>